

「東日本大震災」支援活動 REIC 3.11 東日本大震災プロジェクト No.07

東北地域
空間線量率（1センチメートル線量当量率）の測定
及び土壌試料の採取 報告書

Ver 1.0

平成 23 年 7 月

特定非営利活動法人

リアルタイム地震情報利用協議会



活動の概要

特定非営利活動法人 リアルタイム地震情報利用協議会では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の後、大学連携による土壌調査への活動に対して作業協力を行った。

今回の原子力発電所の事故による土壌汚染は住民の生活の基礎を脅かしている。

早急にきめの細かい住民への対応（何時帰れるのか、どうすれば帰れるのか）を図るためには詳細な土壌中の放射性元素の沈着を知ることが必要である。

現在の空間線量は、ほとんどすべて土壌内の放射能によるものであることがわかっており、土壌の調査が早急に望まれていた。

以下は、「土壌調査」の活動についての説明資料である。

6/27～6/29 活動報告（宮城県白石市）

同行者：松田、水井、防災科研 1 名

訪問目的：空間線量率（1 センチメートル線量当量率）の測定及び土壌試料の採取

訪問地域：宮城県白石市、2km メッシュ 13 カ所

作業内容：

放射線量等分布マップの作成等に係る検討会が行う放射線量等分布マップの作成に向けて、福島第一原子力発電所の周辺地域における基礎データ（線量測定・土壌試料採取作業）を取得する

1. 陸上における空間線量率（1 センチメートル線量当量率）の測定

→ 土壌採取位置上の高さ1mの場所において測定を行う

2. 土壌試料の採取

→ 測定範囲3×3mの中で、土壌試料を採取しやすい位置の中から5点を選定し、採取する。また可能な場所にて30cmコアを採取する

以上

現地活動写真(6/27～6/29 宮城県白石市)



全体ミーティング（福島県二本松市）



採取装備一式



1m 高さ線量計測



土壌サンプル採取状況



土壌サンプル採取



土壌サンプル採取跡



30cm コア採取状況



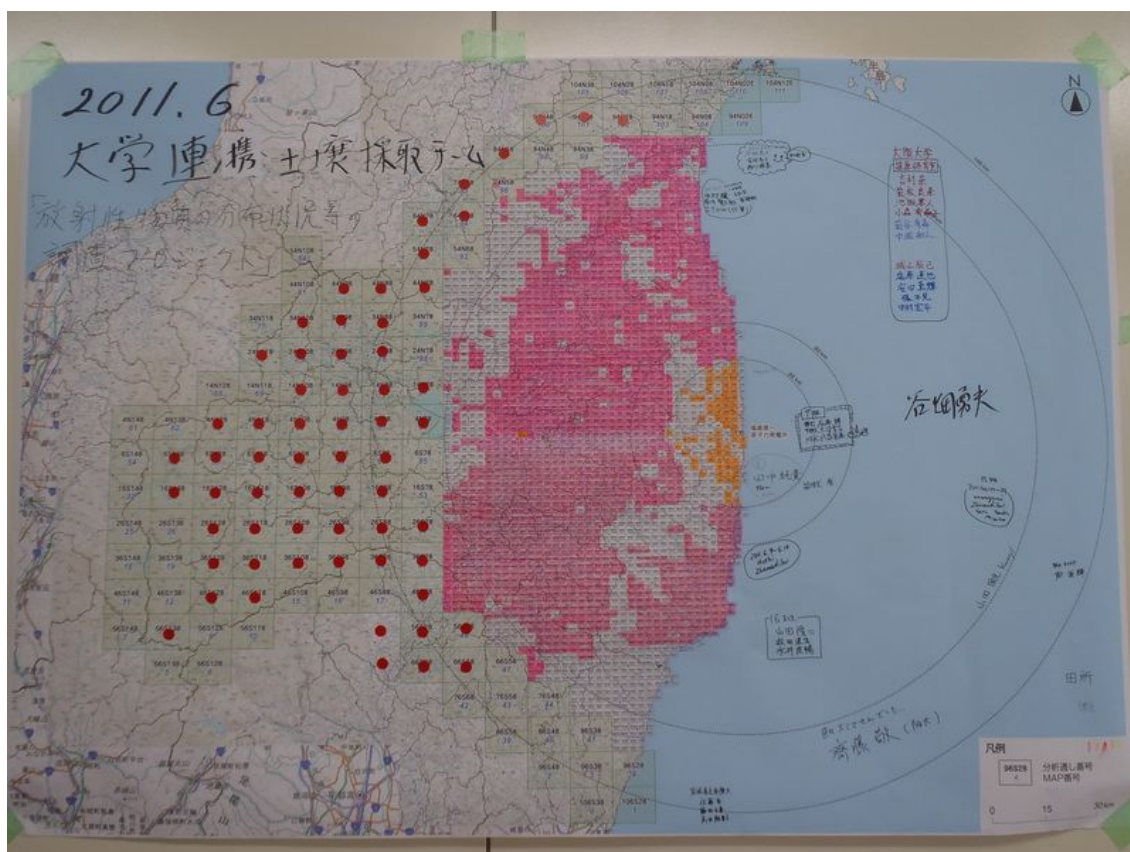
30cm コア採取



土壌サンプル線量計測



土壌サンプル



全調査範囲